

目次

デバイスの追加 1

 BioStar 2サーバーにデバイスを追加 1

 RS-485通信でスレーブデバイスを追加 3

 動画デモ 5

システム構成, BioStar 2, デバイス

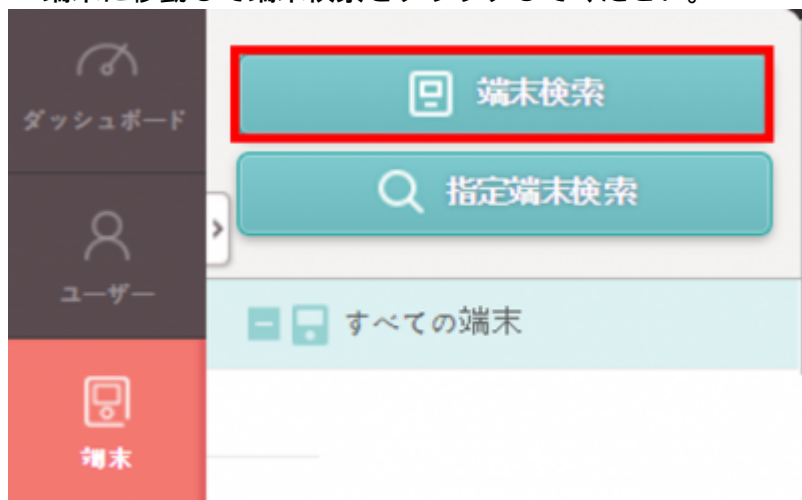
デバイスの追加

BioStar 2は端末の2つの接続モードをサポートします。

機能	BioStar 1.x		BioStar 2	
モード	ダイレクト	サーバー	デバイス→サーバー	サーバー→デバイス
リアルタイムログアップデート	クライアントにのみ	0	0	0
自動再接続	X	0	0	0

BioStar 2サーバーにデバイスを追加

1. 端末に移動して端末検索をクリックしてください。



2. サーバーに追加するデバイスを選択します。BioStar 2は、端末→サーバーおよびサーバー→端末の2つの接続モードがあります。機能上の違いはありません。しかし、端末→サーバーは、指定されたサーバーから変更または切断されないよう、端末接続を保護できます。



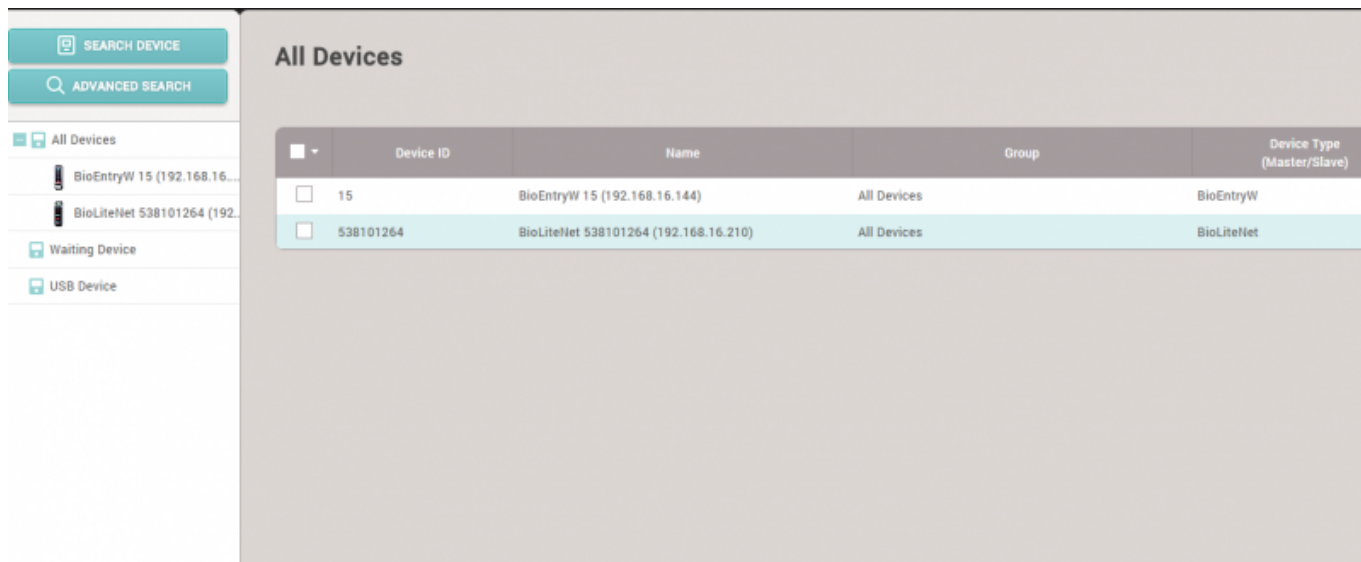
端末のIPアドレス変更、もしくは端末→サーバー接続モードに変更するには、端末を選択しIPアドレス設定ボタンをクリックしてください。



3. サーバーアドレスにサーバーIPを入力し適用をクリックします。

4. ページを再読み込みし画面を更新します。端末→サーバーの場合、デバイスが待機中端末リストに表示されます。マウス右クリックで待機中端末を追加ボタンをクリックします。



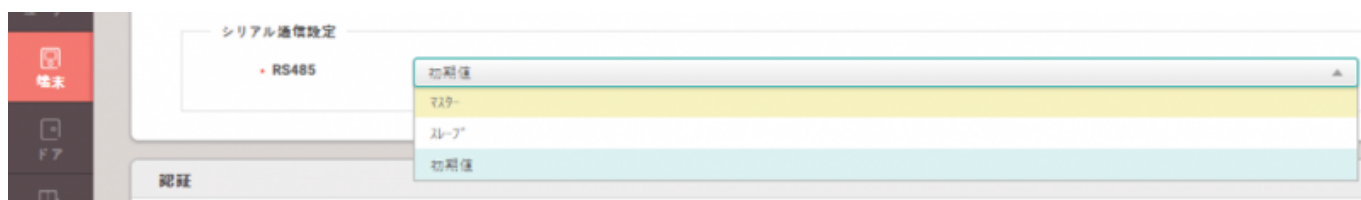


The screenshot shows a web interface titled "All Devices". On the left is a sidebar with navigation options: "SEARCH DEVICE", "ADVANCED SEARCH", "All Devices" (selected), "Waiting Device", and "USB Device". The main area displays a table of devices.

	Device ID	Name	Group	Device Type (Master/Slave)
<input type="checkbox"/>	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	All Devices	BioEntryW
<input type="checkbox"/>	538101264	BioLiteNet 538101264 (192.168.16.210)	All Devices	BioLiteNet

RS-485通信でスレーブデバイスを追加

1. 配線の確認後、デバイス設定からRS485シリアル通信をマスターに変更します。



- マスター：論理的決定を下してローカルゾーンを制御します。
- スレーブ：クレデンシャル情報を読み取ってマスターデバイスに送るダミーリーダー

2. マスターデバイスが検索できるよう、デバイスを**スレーブモード**に変更してください。RS-485ケーブルを通じてマスターデバイスにアクセスし、物理的配線リンクを確認した後、BioStar 2に移動してください。**デバイス**メニューに移動してください。デバイスツリーでマウスを右クリックした後、スレーブデバイス検索をクリックしてください。

Network

TCP/IP

- ☒ Use DHCP
- IP Address: 192.168.16.144
- Gateway: 192.168.16.1
- Support 100 BASE-T: ☐ Not Use

Server

- ☐ Device -> Server Connection
- Server IP: 0.0.0.0

Serial

- RS485: Slave

BioStar 2 Setting About Help

All Devices

Device ID	Name	Group
8101264	BioLiteNet 538101264 (192.168.16.210)	All Devices

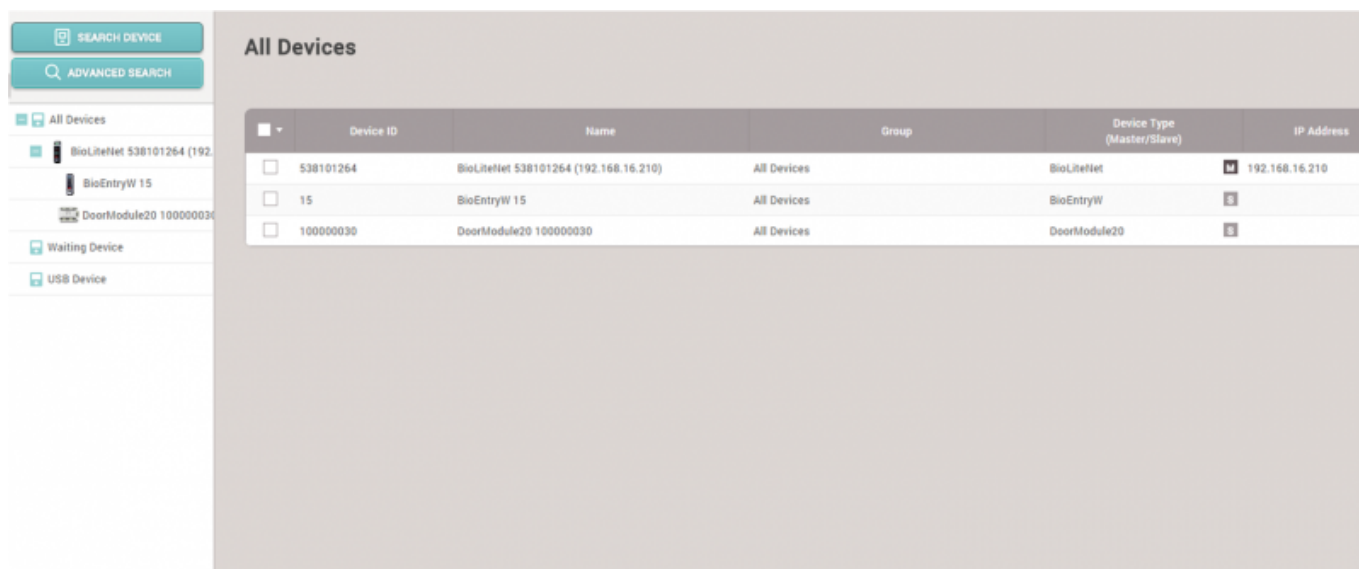
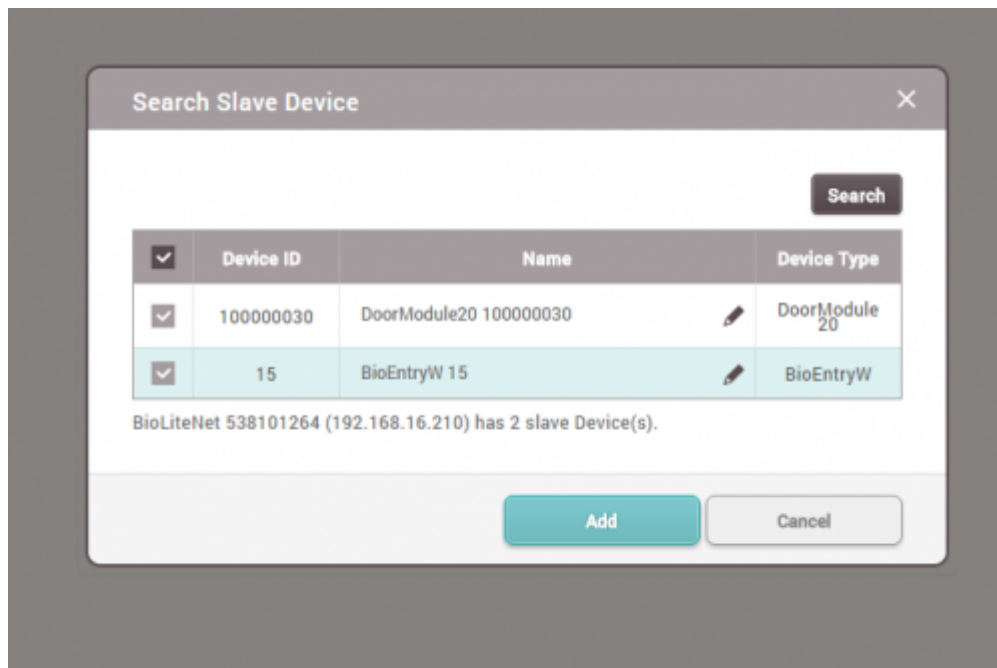
Context Menu:

- Add Wiegand Device
- Search Slave Device
- Reconnect
- Manage Users in Device
- Sync Device
- Reboot
- Delete Device

3.

検索結果を確認し、**追加**

ボタンをクリックしてください。デージーチェーンを利用して最大31のスレーブデバイスがアクセスでき、そのうち最大8つの指紋デバイスをアクセスすることができます。しかし、同時に複数のデバイスで複数の指紋マッチングを行わなければならない場合には、最適なマッチング性能のため、制限された個数のスレーブ指紋デバイスの使用をお勧めします。



動画デモ

[devices.mp4](#)

From:

<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:

http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_add_devices&rev=1594954242

Last update: **2020/07/17 11:50**